

広島日仏協会報

BULLETIN No. 213



広島日仏協会
SOCIÉTÉ FRANCO-JAPONAISE

アリアンス・フランセーズ
ALLIANCE FRANÇAISE

広島日仏学院
CENTRE CULTUREL FRANCO-JAPONAIS

HIROSHIMA
juillet 2023



Le 14 juillet! (2023年パリ祭)



2023年7月3日(月)午後6時30分からリーガロイヤルホテル広島(4階ロイヤルホール)にて、ジュール・イルマン在京都フランス総領事ご臨席のもと「2023年パリ祭(フランス革命記念日)」を開催した。

パリ祭開催前に、原野昇副会長への勲章授与式があり、続いて三山会長の挨拶、イルマン在京都フランス総領事の乾杯音頭で、歓談に入った。

今年の特別企画は高校生の大江壱輝さんによる、けん玉のパフォーマンスがあった。現在、私たちが親しみ見慣れているけん玉は、大正時代に日本で生まれたものですが、けん玉そのものは、16世紀のフランスで生まれた「ビル・ボケ bilboquet」が発祥とされています。近年広島の廿日市市でけん玉の世界大会も行われている。彼の手捌きはお見事でした。

歓談が少し落ち着いた頃、ジュール・イルマン在京都フランス総領事から4年間在籍した日本(京都)を離れ、9月からインドネシアのジャカルタに転勤が決まりましたとお別れの挨拶をいただきました。年2回の「日仏友好の夕べ」には毎回出席をしていただき、親しくお話しをさせていただきました。総領事は「体は日本から離れますが、心は離れません」と言う思いの言葉を残されました。

新天地でのご活躍と家族の皆様の健康を祈念し、協会から感謝の気持ちを込めて記念品が渡された。



恒例のお楽しみ抽選会があり、楽しいひとときのパリ祭は、飯田名誉領事の広島とインドネシアとの関係を披露しつつ、イルマンさんの今後のご活躍にエールを送る中締めでお開きとなった。

パリ祭に協賛していただいた会社は以下のとおり：サントリー酒類(株)中国・四国支店、(株)中国放送、(株)テレビ新広島、広島エフエム放送(株)、広島テレビ放送(株)、(株)広島東洋カープ、(株)広島ホームテレビ、(株)福屋、(株)みづま工房

(五十音順)



原野副会長に国防メダル

2023年7月3日（月）パリ祭開催の前に、勲章授与式が行われた。在日フランス大使館軍事部国防武官室ジェローム・シャルドン海軍大佐から原野昇広島日仏協会副会長に「国防メダ

ル（ブロンズ）」が、フランス軍事大臣の名において授与された。

ここに当日の国防武官のスピーチの一部を掲載いたします。

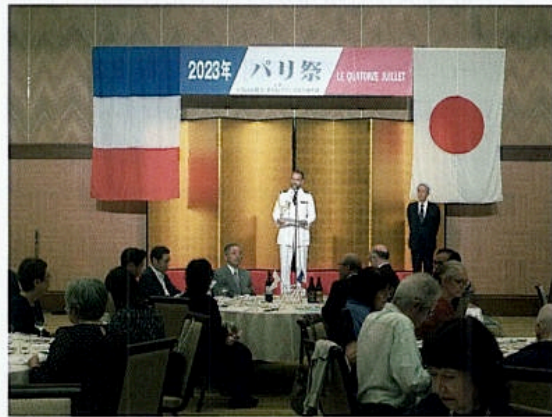
原野教授は、1983年より、広島大学で中世フランス文学の研究をされ、中国地域、ひいては日本におけるフランス文化の普及・伝播において中心的な役割を勤められました。

原野教授は、約20年ほど前から、フランス戦没者記憶協会と緊密に連携しつつ、ボランティアで個人的に、広島のフランス人戦没者の記念碑の保存のため活動され、記憶を継承されてきました。また、1900年の義和団事件の際、中国に派遣されたフランス軍部隊兵士・水兵の傷病者の広島への後送について

研究され、約10の記事を発表されました。原野教授はどれだけ多くの時間を日本の図書館で過ごされたことでしょうか！更に、2003年と2011年にはフランスを訪問され、広島に埋葬された7人のフランス人軍人の子孫の方々と会われました。

フランス軍の歴史的記憶の継承において、原野教授は多大な実績を残されました。フランスは原野教授を日本国、日本の戦史顕彰会において、模範的な存在であると認識しています。

シャルドン海軍大佐は広島に入られてから、式典までの間に平和記念資料館訪問、慰霊碑参拝、フランス人兵士墓地（広島・比治山）の参拝・献花をされました。



比治山フランス人墓地の参拝・献花



フランス・大統領夫人への けん玉のプレゼント

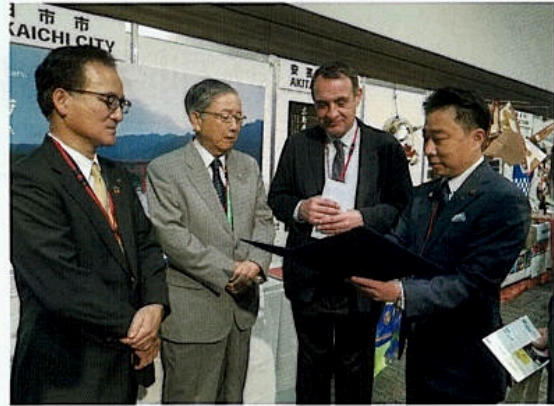
三山 秀昭

G7広島サミットでは広島日仏協会も、フランス政府や日本外務省、サミット県民会議と連携し、様々な形で協力した。

そのうちのひとつとして、廿日市市と日仏協会はフランスのブリジッド・マクロン大統領夫人に、廿日市市が発祥の地とされるけん玉セットと、木彫りのお盆をプレゼントした。

当初は廿日市市の松本太郎市長と広島日仏協会の三山秀昭会長がマクロン夫人に面会して贈呈する予定で、アポイントも取っていた。しかし、急遽、マクロン夫人が来日しないことになったため、サミット前日の5月18日夜、広島テレビ2階の広島コンベンションホールで開かれたサミット前夜祭で、フィリップ・セトン駐日フランス大使に寄託した。

松本市長は廿日市市がけん玉発祥の地と言われる経緯や7月29、30日の両日、廿日市市で「けん玉ワールドカップ」が開催されること、さらには11月に廿日市市と「観光友好都市提携協



定」を締結しているモンサンミシエルを訪問し、協定締結15年を機にさらなる交流、友好を深める予定であることも説明した。

セトン大使は「けん玉はフランスではBilboquet（ビルボーケ）と呼ばれ、19世紀には盛んにおこなわれていたと説明、11月のフランス訪問の際、けん玉を通じて日仏の友好、親善をさらに深めてほしい」と期待を述べた。

写真は、マクロン大統領夫人へのけん玉の贈呈目録を、セトン大使（中央）に説明する廿日市市の松本太郎市長（右）と三山秀昭・広島日仏協会会長、飯田政之・在広島フランス名誉領事

広島日仏協会会長

日仏の違い

宮島を訪れたフランス人に鳥居の改修中のカバーに工夫があったら良かったと言われた。

フランスでは、改修中の建物もひとつの風景となっている。

建物に架けられた白いカバーに何かを施すのである。一例としてフランスの老舗百貨店（サマリテヌ）が数年かけて改修をした。架けられたカバー（右の写真）全体を利用して絵が描かれている。日本人アーティストの

作品だと聞いた。通行人の目を楽しませてくれている。

これは一つの芸術になっている。



パリ・モンサンミッシェルへの旅のご案内

広島日仏協会会長 三山 秀昭

廿日市市と広島日仏協会の共催で、11月にフランス・パリとモンサンミッシェルへの旅行を実施することになりました。

これはG7広島サミットに関して、廿日市市と日仏協会が様々な協議を進めていた中で、サミット終了後も日仏間の交流を進めていこうとの考えで一致したものです。具体的には世界遺産の宮島・厳島神社のある廿日市市と、同様に海に浮かぶ世界遺産の修道院があるモンサンミッシェルが「観光友好都市提携協定」を結び15年になるため、友好を深めることで、相互にインバウンドによる観光客の増加に繋げようという趣旨で合意したものです。

すでに廿日市市とモンサンミッシェル当局との間で、11月18日か19日に現地モンサンミッシェルでの歓迎レセプションの日程が組まれています。

旅行の日程は別紙のとおりです。滞在中の日程は多少変更があったとしても、出発と帰国の日程は変わらないと思います。

廿日市市からは市長ら数人程度の参加が予定されていますが、広島日仏協会としては、広く会員に参加を募る形にしたいと考えています。

予算は航空運賃などの高騰がありますが、多くの参加者を募る意味からも、JTBに対しては70万円を上回らないようお願いしてあります。(参考・広島商工会議所のハワイへのツアーは55万円)

ついでに下記の日程で、事前の説明会を開催します。JTBの担当者が詳しい内容を説明するとともに、質問にもお答えします。旅行には日仏協会の会員でなくても友人・知人にお声かけいただき、参加されることは可能です。また、個人的にオプションとして帰国を遅らせることも可能です。とりあえず説明会で詳細を聞いたうえで、出席するかどうかを判断することももちろんOKです。ただ、旅行に参加されるかどうかは8月上旬までにお決めいただきたいとのことです。

旅行の説明会について

7月25日(火) 午後2時より1時間程度

広島テレビ8F第6会議室

なお、お問い合わせはJTB広島支店 大谷 まで082-546-9951

日程表 パリ7日間 (広島～羽田発)

日次	月日(曜)	地名	現地時刻	交通機関	スケジュール	食事
1	11/16 (木)	広島空港発 羽田空港着	16:55 18:15	JL262	空路：羽田空港へ ＜ロイヤルパークホテル羽田泊＞	朝：－ 昼：－ 夕：○
2	11/17 (金)	羽田空港発 パリ(CDG)着	10:55 15:40	JL045	空路：パリへ(所要時間：12時間45分) ＜パリ泊＞	朝：○ 昼：機内 夕：○
3	11/18 (土)	パリ モンサンミッシェル	終日	専用車	早朝：聖地モンサンミッシェルへ(約370km 約5時間30分) 朝食は名物オムレツをお召し上がりください。 午後：【世界遺産】モンサンミッシェル修道院観光 「西洋の驚異」と呼ばれるノルマンディに聳えるモン・サン・ミッシェル修道院は、司教オベールが、大天使ミカエルのお告げにより、海に浮かぶ岩山に聖堂を建立した708年にその歴史は始まり、966年にはベネディクト派の修道院が設立。拡張を繰り返し16世紀に完成。一時期、要塞や牢獄となりながらも1966年からは修道院として甦り、現在に至っています。 ＜モンサンミッシェル泊＞	朝：○ (※'92など) 昼：○ 夕：○
4	11/19 (日)	モンサンミッシェル ヴェルサイユ パリ	終日	専用車	午前：モンサンミッシェルを出発、ヴェルサイユ(約350km 約5時間) 昼後：ヴェルサイユ宮殿観光 フランスが誇る世界遺産「ヴェルサイユ宮殿」フランスの最も輝かしい時代を象徴する贅沢な造りの宮殿を観光します。 観光後、パリへ ＜パリ泊＞	朝：○ 昼：○ 夕：○
5	11/20 (月)	パリ	終日	専用車	午前：パリ市内半日観光 (コンコルド広場、凱旋門、エッフェル塔【シャイヨー宮かシャン・ド・マルスより】、モンマルトルの丘、シャンゼリゼ大通りなど) 午後：ルーブル美術館見学 (30万点といわれる膨大なコレクションを収蔵するルーブル美術館を見学) ＜パリ泊＞	朝：○ 昼：○ 夕：○
6	11/21 (火)	パリ パリ(CDG)発	18:55	JL046	出発まで自由行動 一路、空港へ 空路、運行便にて羽田空港へ(所要時間：11時間50分) ＜機中泊＞	朝：○ 昼：－ 夕：機内
7	11/22 (水)	羽田空港着 羽田空港発 広島空港着	14:45 17:55 19:20	JL265	空路：広島空港へ	朝：機内

2023(令和5)年度総会

2023(令和5)年度広島日仏協会総会が、7月3日(月)18時からリーガロイヤルホテル広島において開催された。開会の辞、三山秀昭会長の挨拶、議長選出に引き続き議案審議にはいった。令和4年度の事業報告と決算報告を白銀専務理事が行ない、山口監査役から監査報告があった。次いで令和5年度事業計画案および予算案の説明が同専務理事からあり、異議なく了承された。

つぎに、役員改選の審議に入り、副会長に(株)広島ホームテレビ大辻茂氏に代わり三吉吉三社長が、そして理事にマツダ(株)松本憲二氏に代わり藤家豊コーポレート業務本部長が就任。以上の案件を令和5年4月1日に遡って原案通り承認された。(役員名簿は下記を参照)。

令和4年度事業報告、決算報告と令和5年度事業計画案、予算案は別紙。



役員名簿

令和5年4月1日～令和7年3月31日

広島日仏協会

役職	氏名	勤務先	備考
名誉会長	フィリップ・セトン	駐日フランス大使	
名誉顧問	ジュール・イルマン	在京都フランス総領事	
最高顧問	後藤 文生	広島テレビ放送(株)	
会長	三山 秀昭	広島テレビ放送(株)	
副会長	竹内 泰彦		
	原野 昇	広島大学(名誉)	
	箕輪 幸人	(株)テレビ新広島	
	宮迫 良己	(株)中国放送	
	三吉 吉三	(株)広島ホームテレビ	新任
専務理事	白銀 敏枝	広島修道大学	
理事	飯田 政之	広島テレビ放送(株)	
	井上 浩一	(株)中国新聞社	
	今中 亘	(株)中国新聞社特別顧問	
	大下 龍介	(株)福屋	
	小田 宏史	(株)もみじ銀行	
	杉山 政則	広島大学(医系科学研究科)	
	末田泰二郎	安芸市民病院	
	田中 竜二	(株)みづま工房	
	新延 聡子	広島テレビ放送(株)	
	野村 尊敬	バイオガイアジャパン(株)	
	福島 真平	広島テレビ放送(株)	
	藤家 豊	マツダ(株)コーポレート業務	新任
	望月 公正	広島テレビ放送(株)	
	山本 修	広島大学(名誉)	
監事	浮田 収	(株)むさし	
	山口 真司	広島エフエム放送(株)	

会費納入のお願い

2023(令和5)年度(令和5.4.1～令和6.3.31)の会費納入をよろしくお願い申し上げます。

正会費 年間 5,000円

なお、納入の際は別紙記載の金融機関または同封の振替用紙をご利用いただければ幸いです。

発行：広島日仏協会

〒730-0037 広島市中区中町6-30

電話・FAX (082) 569-5450

E-mail: sfjhiro@crocus.ocn.ne.jp

HP: hiro-sfj.server-shared.com

発行年月日: 2023年(令和5年)7月21日

印刷所: (株)ニシキプリント

P. 2、3の写真提供者: 中島英男